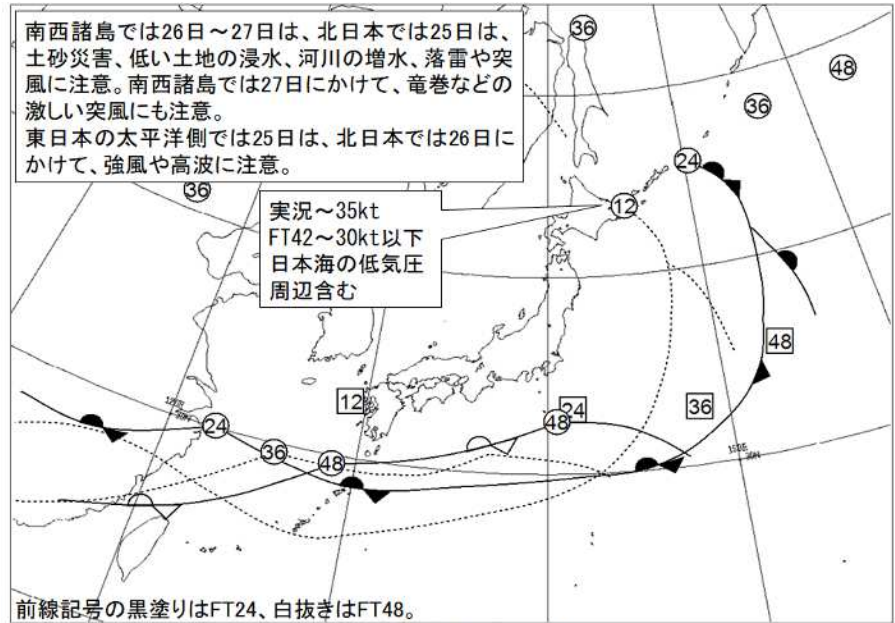


### 1. 実況上の着目点

- ① 三陸沖に発達中の低気圧が、あって北東進。前線が日本の南を、通って南西諸島付近にのびている。先島諸島の南の海上では雷を伴った猛烈な雨を解析。
- ② 日本海北部に低気圧が、あって東北東進。この低気圧の影響により、北海道地方や東北日本海側で広く雨が降っている。
- ③ 日本のはるか東に中心を持つ高気圧と①の低気圧や前線及び②の低気圧との間で、気圧の傾きが大きくなっており、東～北日本では強い風が吹いており、波が高くなっている所がある。



主要じょう乱解説図

- ④ 衛星ダスト画像では、②の低気圧の後面の日本海西部に黄砂の飛来が確認できる。

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

- ① 1項②の低気圧に向かって850hPa  $\theta_e$  315K以上の下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となっている。25日は北日本では落雷や突風に注意し、北海道地方では土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意。なお、この低気圧は25日夜にかけて衰弱し不明瞭になる見込み。
- ② 華中から南西諸島を、通って日本の東にのびる前線上の華中付近に、26日朝までに低気圧が発生する見込み。この低気圧は27日にかけて東シナ海を東進し、それに伴って前線は九州南部付近では27日にかけて北上する。この低気圧や前線に向かって850hPa  $\theta_e$  336K以上の下層暖湿気が流入するため、南西諸島では、27日にかけて大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨の降る所がある。土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意し、落雷、竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 1項①の低気圧は、25日夜にかけて閉塞しながら日本の東を北上し、北海道付近に達する。この低気圧や前線及び1項②の低気圧と、日本のはるか東の高気圧との間で気圧の傾きが大きい状態が続くため、北～東日本では強い風が吹いて波が高く、北海道地方ではしけとなる所がある。東日本では25日は、北日本では26日にかけて、強風や高波に注意。
- ④ 1項④の黄砂は26日～27日に、北～東日本の広い範囲に飛来が予想されている。視程が10km未満、所によって5km未満となる見込み。視程の悪化による交通障害に注意。

### 3. 数値予報資料解釈上の留意点

- 総観場はGSM基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。
4. 防災関連事項 [量的予報と根拠] ①大雨ポテンシャル(18時から24時間)：沖縄120mm。②波浪(明日まで)：北海道4、東北・北陸3m。

### 5. 全般気象情報発表の有無

発表予定はない。